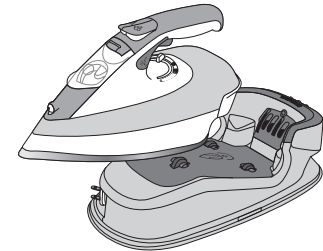


T-fal®

取扱説明書 / 保証書

ティファール コードレス スチームアイロン フリームーブ パワー 9986

製品番号 FV9986J0



1820002311

目次

安全上のご注意.....	2	スチームアイロンとして 使うときは.....	18
各部の名前とはたらき.....	7	ジェットスチームを 使うときは.....	19
本体パネル表示.....	8	バーチカルスチームを 使うときは.....	20
ドライ/スチーム切替トリガー.....	8	使い終わったら.....	21
ディスプレイパネルの見かた.....	9	お手入れ.....	23
カバーの取りはずし方/ 取りつけ方.....	9	本体のお手入れ.....	23
絵表示の見方と温度の関係.....	10	かけ面のお手入れ.....	23
衣類に表示されている 取り扱い絵表示.....	10	給電台のお手入れ.....	24
温度設定目安表.....	10	セルフクリーニング.....	24
自動オフ機能.....	11	水あか防止バルブの クリーニング.....	26
ご使用の前に.....	12	故障かなと思ったら.....	28
使い方.....	14	仕様.....	33
ドライアイロンとして 使うときは.....	17		
ワンタッチスプレー (霧吹き)を使うときは.....	17		

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072


ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)


修理センター

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

安全上のご注意


- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。

 発火注意


 強制または指示

 分解禁止

 禁止行為

 感電注意


 接触禁止


 電源プラグをコンセントから抜く

 **警告**


 **電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する**
間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があり、保証は無効となります。

 **使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**
ショートや発火する恐れがあります。


 **修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない**
発火したり、異常作動してけがをすることがあります。


 **子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない**
やけど・感電・けがをすることがあります。


 **濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない**
感電の恐れがあります。

 **コンセントについて**


- 単独でコンセントを使用する
- 2口コンセントの場合は、片方の差し込み口を開けたままで使用する
- 延長コードを使用する際は、定格 15A のものに単独で使用する
- コンセントに差し込む前に、電源プラグを持って給電台からコードを完全に引き出してください。
コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。




 **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

 **電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく**
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

 **注意**

 **コードを収納するときは、電源プラグを持って巻き取る**
プラグが当たって、けがの原因になります。



安全上のご注意 (続き)



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れない



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。



万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない。

危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。



本体を水につけたり、水をかけたりしない



ドライ／スチーム切替トリガーを連続して速くひかない。

湯滴漏れによるやけどの原因になります。



使用中や使用直後はアイロンの本体のかけ面と給電台は大変高温になっているので、触れない。

やけどの原因になります。

また、コードをアイロンかけ面に絶対に触れないようにしてください。



アイロンには既定の給電台とカバー以外は使用しない。



給電台にカバーがかかっているときに給電台をコンセントに接続しない。



アイロンは常に給電台に置き、立てて置かない。

アイロンと給電台は、平たく安定していて熱に強い場所で使用してください。給電台にアイロンを置く際は、安定した場所に置かれていることを確認してください。

また、アイロンが給電台に完全に接続されていることを確認してから手を離してください。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



熱いスチームに触れない

やけどの原因になります。



アイロンかけの際は、アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない

湯滴が出て、やけどの原因になります。



湿った衣類（霧吹きした衣類）は、ドライでアイロンかけをする

湿った衣類にスチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因になります。

安全上のご注意 (続き)



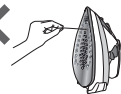
本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

- ※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。
- ※ 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分にご注意ください。
- ※ 本製品は必ず屋内で使用してください。
- ※ この機器は、安全面の責任を持つことができる人が一緒の場合を除き、子ども、高齢者、障害がある人が使うことを想定していません。

お願い

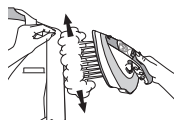
アイロン内部にピンや針金を入れないでください。✕

やけど・けが・故障・衣類を傷める原因になります。



コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品・絹などには使用しないでください。

衣類を傷める原因になります。



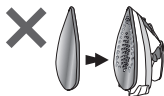
高級品や特殊加工品などには、目立たない所のためしがけをしてください。

特にご注意

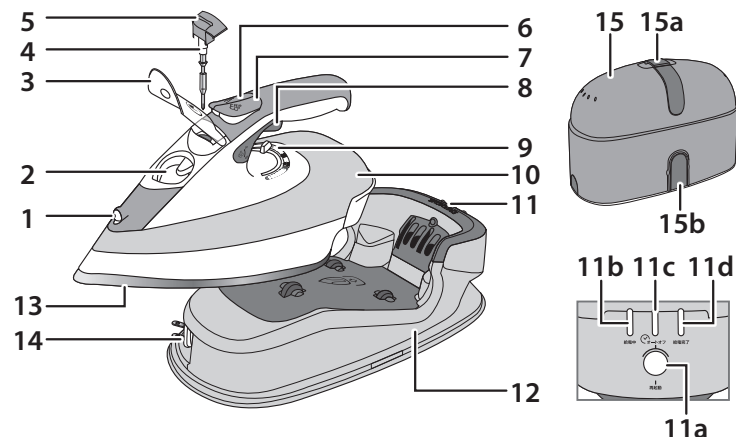
ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わない

誤動作の原因になります。



各部の名前とはたらき



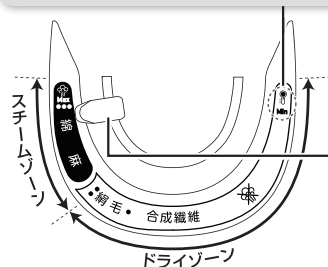
- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. ワンタッチスプレーノズル | 11. ディスプレイパネル |
| 2. 注水口 | 11a. 再起動ボタン |
| 3. 注水口カバー | 11b. 給電中ランプ (緑点滅) |
| 4. 水あか防止バルブ | 11c. オートオフランプ (オレンジ点滅) |
| 5. 水あか防止バルブ取り出しボタン | 11d. 給電完了ランプ (緑点灯) |
| 6. ワンタッチスプレーボタン | 12. 給電台 |
| 7. ジェットスチームボタン | 13. かけ面 |
| 8. ドライ/スチーム切替トリガー | 14. コード/コードリール |
| 9. 温度設定レバー | 15. カバー |
| 10. 水タンク | 15a. カバーハンドル |
| | 15b. クリップ |

各部の名前とはたらき (続き)

本体パネル表示

かけ面の温度を設定します。

かけ面は熱くありませんが、「min」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。



スチームゾーン

この間でスチームを使用できます。

ドライゾーン

この間ではドライでご使用ください。

温度設定レバー

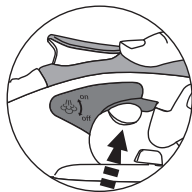
温度設定レバーの先を繊維の種類に合わせます。

ドライ/スチーム切替トリガー

ドライモード



スチームモード



温度設定レバーがドライゾーンの場合は、ドライ/スチーム切替トリガーをひかずに、ドライで使用してください。トリガーをひくと水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

ディスプレイパネルの見かた

給電中	給電完了	自動オフ機能稼働中
「緑」点滅	「緑」点灯	「オレンジ」点滅

※ かけ面の温度が安定するように、衣類にかけていないときは必ず給電台に戻してください。

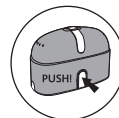
※ かけ面の温度が下がるとすべりにくくなり、湯滴漏れの原因になることがあります。

使用する際は、ディスプレイパネル右の給電完了ランプが点灯するまで待ってください。

カバーの取りはずし方/取り付け方

〈使用前〉

両サイドのクリップの上を同時に押しながらかち上げ、カバーを取りはずします。



〈使用后〉

十分かけ面が冷えていることを確認し、カバーを真上からかぶせてください。クリップがカチッと音を立ててロックされたことを確認します。







！ 注意

- 電源コードがコンセントに接続した状態でカバーをかぶせないでください。
- アイロンかけ面が熱い状態でカバーをかぶせないでください。

絵表示の見方と温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示



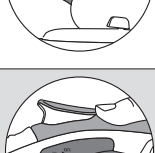



(一部参考例)

	高温でかけてください。		低温でかけてください。
	中温でかけてください。		アイロンかけはできません。

※ その他「スチーム禁止」「あて布使用」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表

(かけ面の温度はドライアイロン使用時の温度)

繊維	温度設定レバーの位置	ドライ/スチーム切替トリガー	かけ面の温度* (目安)	繊維製品の絵表示 (かけ面の温度)
合成繊維 アクリル・ナイロン・ ポリエステル・ アセテートなど	合成繊維		約 80℃～ 約 115℃	 (約 110℃)
絹・毛	絹・毛		約 125℃～ 約 155℃	 (約 150℃)
綿・麻	綿・麻		約 175℃～ 約 205℃	 (約 200℃)

 : ドライゾーン  : スチームゾーン

※ あくまでも、かけ面の平均温度であり、状況により温度は異なります。

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。

複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。

※ アイロンかけの前に衣類を分けておくのが能率的です。

！ 注意

- 低温から高温に温度を変更した場合、給電完了ランプが点灯しますが、一度アイロンを給電台から外し、再度給電台に戻してください。給電中ランプが点滅した後、給電完了ランプが点灯したらお使いいただけます。
- 温度設定レバーを下げる場合、衣類を焦がさないよう、一度給電台にアイロンを置いて温度が下がるまでしばらく待ってください。

自動オフ機能

- 通常使用時は、オートオフランプは消えています。
- アイロンを給電台に置いたまま 8 分以上放置すると、電源が切れ、ディスプレイパネルのオートオフランプがオレンジ色に点滅します。
- 再スタートするには、ディスプレイパネルの再起動ボタンを押すと、自動オフ機能が解除され、オートオフランプが消えます。



ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みください。

アイロンを加熱する前に、かけ面にラベルが貼られている場合は剥がします。

初めてアイロンをご使用になる際は…

以下の症状が出る場合がありますが、異常ではありません。ただし、症状がひどくなる場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがしますが、異常ではありません

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。
この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

ごくまれにスチーム穴から粒や粉が出てくる場合がありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためです。初期のご使用の際には、10回ほどジェットスチームボタンを押して蒸気を出してからご使用ください。気になる場合はセルフクリーニングもおこなってください。(24ページ)
ジェットスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

初めてアイロンをご使用になる際や、長期間スチームをご使用にならなかった場合はセルフクリーニングをおこなってください。

24ページの「セルフクリーニング」を参照してください。

ご使用にあたっての注意事項

スチームアイロンには、水道水をご使用ください。

軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、リネンウォーターなどを加えた水などはご使用にならないでください。アイロンのスチーム穴が詰まったり、布地のシミの原因となります。

のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

のりづけ（スプレーのりも含む）、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ（こげつき）だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

温度設定は正確にしてください。

10ページの「絵表示の見方と温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ（こげつき）や衣類を傷める原因になります。

使用中や使用後、アイロン内部から金属音がすることがありますが、異常ではありません。

アイロン内部にある水漏れ防止用のバイメタル（金属）が、かけ面の温度変化によって機能することにより発生するものです。

使い方

1 水タンクに水を入れます。

(スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合のみ)

① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。



② アイロンを給電台から取り外します。

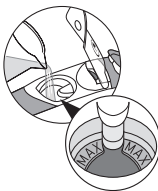
③ 注水口カバーを開け、水タンクのMAX マークまで水を入れます。

※ 水あか防止バルブがセットされていることを必ず確認してください。

※ 水はMAX より入れすぎないように注意してください。水漏れの原因になります。

※ ドライ/スチーム切替トリガーをひかないでください。水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

※ 電源プラグ、コード、アイロン本体、給電台に水がかからないようにご注意ください。故障の原因になります。



④ 注水口カバーをしっかりと閉めます。

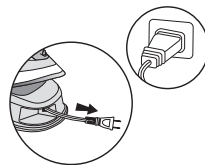
⑤ アイロンを給電台に戻します。



注意

- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されていますが、定期的にセルフクリーニング（24 ページ「セルフクリーニング」）をおこなってください。
- 水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがありますので、衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟水、冷蔵庫・パティリー・エアコンの水、雨水、煮沸/濾過された水、ミネラルウォーター、これらの水はご使用にならないでください。
- 注水時、ジェットスチームボタンを押さないでください。水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

2 電源プラグを持ってコードをコードリールから完全に引き出して、100Vのコンセントに差し込みます。

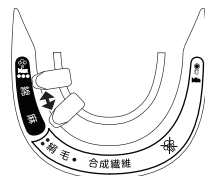


3 温度設定レバーをセットします。

ドライアイロンとして使うとき

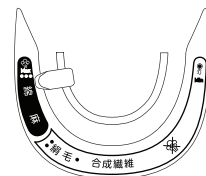
繊維の種類に合わせて温度設定します。

スチームアイロンとして使う、またはジェットスチームを使うとき
スチームゾーンにセットします。



バーチカルスチームを使うとき

「Max」の位置にセットします。



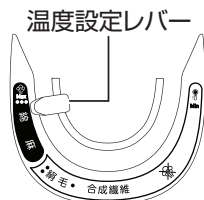
注意

- 温度設定レバーを「合成繊維」または「絹」にセットしたときは、ドライ/スチーム切替トリガーをひかずにアイロンを使用してください。湯滴漏れの原因になります。

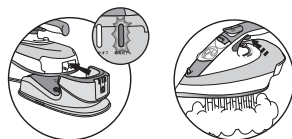
長期間スチームをご使用にならなかったときは…

以下の手順で、スチーム穴と内部に付着したほこりなどを排出してください。

- 1 アイロンを給電台に置いて、温度設定レバーを「Max」にセットします。

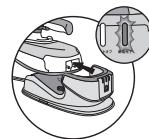


- 2 ディスプレイパネル右の給電完了ランプが点灯したら、かけ面を下にしてアイロンを浮かし、ジェットスチームボタンを押してスチームを出します。



※ 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを 10～15 回程押してください。かけ面より湯滴が落ちることがありますのでご注意ください。

- 4 ディスプレイパネル左の給電中ランプの点滅が停止し、右の給電完了ランプが点灯したら、使用を開始します。

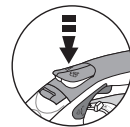


■ ドライアイロンとして使うときは

ドライ/スチーム切替トリガーをひかずにアイロンかけをします。

■ ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うときは

ワンタッチスプレーボタンを押すと、ワンタッチスプレーノズルから霧状に水が出ます。ドライアイロンとして使用しているときでも、水タンクに水が入っていれば使えます。



※ 使い始めは出にくいことがあります。

その場合、ワンタッチスプレーボタンを 10～15 回程度押してください。



注意

絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。

使い方 (続き)

■ スチームアイロンとして使うときは

ドライ/スチーム切替トリガーをひき続けるとスチームが出ます。
ドライ/スチーム切替トリガーを離すとスチームは止まります。

- 温度設定を必ずスチームゾーンに設定してください。
低い温度に設定されていると湯滴漏れの原因になります。



- 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
- スチーム量を最大にするときは、温度設定レバーを「Max」に合わせてください。
- アイロンかけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、ディスプレイパネル左の給電中ランプの点滅が停止し、右の給電完了ランプが点灯してからアイロンをかけてください。
- ドライ/スチーム切替トリガーを引いてもスチームが出ないときは、トリガーを引きながらアイロン本体をゆっくりと前後に動かしてください。



注意

- 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロン台下に体（足や太もも）がこないように注意してください。
- アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分に気をつけてください。

■ ジェットスチームを使うときは

一度にたくさんのスチームを出したいときは、
ジェットスチームボタンを押してください。
強力なスチームは、がんこなシワ取りに効果があります。



- 温度設定を必ずスチームゾーンに設定してください。
- ジェットスチームを使うときは、水タンクに水を入れてください。
- 温度設定レバーを「Max」にセットしたときに一番パワフルにスチームが出ます。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。



注意

- 温度設定レバーを「合成繊維」「絹」にセットしたときは、ジェットスチームを使用しないでください。湯滴漏れの原因になることがあります。
- 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分に気をつけてください。

使い方 (続き)

■ バーチカルスチームを使うときは

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

- ① 衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。
- ② ジェットスチームボタンを繰り返し押しながら、アイロンを上から下に移動させます。



- 温度設定を「Max」にセットしてください。
- 給電完了ランプが点灯したら使用できます。
- バーチカルスチーム量が減ってきたら、給電台に戻してください。
- 水量が少ないと出にくくなります。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。
- ドライアイロンとして使用していても、水タンクに水が入っていて温度設定がスチームゾーンであれば、バーチカルスチームが使用できます。



注意

- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。
- 布地を引っ張る際は手にスチームがあたらないようご注意ください。

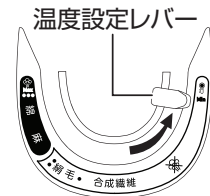
お願い

熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

使い終わったら

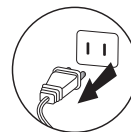
お願い 必ず水タンクから水を捨てて保管してください。水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがあります。

1 温度設定レバーを「min」にセットします。



2 アイロンを給電台に置きます。

3 給電台の電源プラグを抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。



4 アイロンのかけ面が冷めたら、水タンクの水を捨てます。



※ タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。

5 アイロンを給電台に置きます。

使い終わったら (続き)

6 コードを収納します。

電源プラグを持ち、ゆっくりとコードを引いて巻き取ってください。

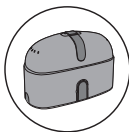
※ プラグを持ってコードを引かないと、プラグが手に当たりけがの原因となります。



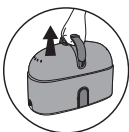
! 注意 ● かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。

7 アイロンのかけ面が冷えてから、カバーをかぶせます。

両サイドのクリップがカチッと音を立ててロックされたことを確認してください。



持ち運び時は、カバーのハンドルを使用してください。持ち運ぶときは確実にロックがされていないと、カバーが外れ、アイロンと給電台が落下する恐れがあります。



お手入れ

! 注意 水道水でしかアイロンを洗わないでください。

お願い ● アイロンの電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
● 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

アイロンのお手入れ

やわらかい布で拭いてください。

がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

かけ面のお手入れ

汚れが付いたときはすぐに取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。

頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

● 本製品の「オートクリーン」は触媒作用を利用し、アイロン使用中に発生する、かけ面上の不純物を取り去る働きをします。しかし通常の使用状態でない場合（不適切な水や柔軟剤など）、かけ面上に汚れが残る場合があります。

お願い 研磨布を使用しないでください。かけ面のコーティングを傷つけてしまいます。

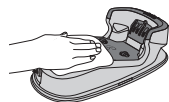
お手入れ (続き)

給電台のお手入れ

給電台

やわらかい布で拭いてください。

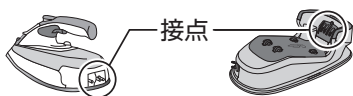
※ 汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤 (中性) を布に含ませてください。



接点

やわらかい布で拭いてください。

※ 磨かないでください。
接触不良の原因となります。



セルフクリーニング

目安: 1 ヶ月に 1 回

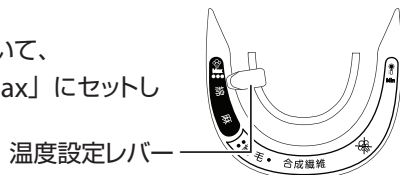
アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングをおこなってください。(使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1 ヶ月に 1 回の目安でおこなってください。) スチーム穴の目詰まり防止に効果的です。

1 水タンクの MAX マークまで水を注ぎます。

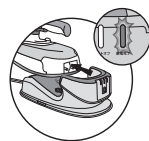
(14 ページ「水の入れ方」参照)

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 アイロンを給電台に置いて、温度設定レバーを「Max」にセットします。



4 ディスプレイパネル左の給電中ランプの点滅が停止し、右の給電完了ランプが点灯したらアイロンを給電台から外します。



5 流し台などでアイロンを水平に持ち、水あか防止バルブ取り出しボタンを押しながら指をボタンにひっかけて上方向に引っ張り、水あか防止バルブを取り外します。



● このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。

6 蒸気 (および不純物) がスチーム穴から排水されるまで、シンクの上でジェットスチームボタンを押しながら、アイロンを前後に軽く振ります。



● 十分に汚れをとりたい場合は、もう 1 度繰り返します。



注意

- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。
- お湯が出た場合は、ジェットスチームボタンを離し、アイロン本体を前後に軽く振りながら、お湯が止まるのを確認してから、アイロン本体を立ててください。

お手入れ (続き)

- 7** 十分に蒸気を排出したら、水あか防止バルブを元の位置にセットします。カチッと音がするまで押して固定してください。



お願い 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずセットしてください。

- 8** アイロンを給電台の上に置き、かけ面が冷めてから、やわらかい布でアイロンを拭きます。

水あか防止バルブのクリーニング

目安：数ヶ月に1回

水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

- 1** 水タンクが空であり、かけ面が冷めていることを確認し、温度設定レバーを「Max」に設定します。

- 2** 水あか防止バルブ取り出しボタンを押しながら指をボタンにひっかけて、上方向に引っ張り、水あか防止バルブを取り外します。

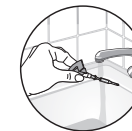


- このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。

- 3** バルブの先端を3～5倍に薄めた酢、またはレモン汁に4時間程度浸します。



- 4** バルブの先端を水道水ですすぎ洗います。



- 5** 水あか防止バルブを本体に戻します。カチッと音がするまで押して固定してください。



お願い 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずセットしてください。

故障かなと思ったら

状況 アイロンが熱くならない

考えられる原因	対処方法
温度設定レバーの位置が正しくない。	温度設定レバーの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
きちんと電源プラグが入っていない。	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
アイロンがきちんと給電台に載っていない。	アイロンが給電台に完全に接続されていることを確認してから給電してください。

状況 スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
初めて使用する。	初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。 → 16 ページ
ドライ/スチーム切替トリガーをひいていない。	ドライ/スチーム切替トリガーをひいてください。
温度設定がスチームゾーンになっていない。	温度設定レバーをスチームゾーンにセットしてください。 → 15 ページ
水タンクが空になっている。	水タンクに水を入れてください。
水漏れ防止機能が働いている。	かけ面が適温に達するまでお待ちください。
スチーム穴が詰まっている、または長時間ドライのみで使用した。	水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングをおこなってください。 → 24 ページ
水あか防止バルブが汚れている。	水あか防止バルブをクリーニングしてください。→ 26 ページ

考えられる原因	対処方法
アイロンに水あかがたまっている。	水あか防止バルブをクリーニングし(→ 26 ページ)、セルフクリーニング(→ 24 ページ)をおこなってください。
水を入れずにドライのみを長時間使用した。	セルフクリーニング(→ 24 ページ)をおこなってください。
給電が不十分である。	効率的に作業するために、随時アイロンを給電台に置いて給電してください。
かけ面が十分に温まっていない。	

状況 水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た

考えられる原因	対処方法
ドライ/スチーム切替トリガーをひいて使った。	注水時には絶対にドライ/スチーム切替トリガーをひかないください。
水あか防止バルブがきちんとセットされていない。	水あか防止バルブをきちんとセットしてください。

状況 水が漏れる

考えられる原因	対処方法
ジェットスチームボタンの使用回数が多すぎる。	給電台に戻して給電してください。
ジェットスチーム、パーチカルスチームを連続で使用した。	ジェットスチームボタンを連続使用する場合、少なくとも 4 秒間あけてください。
温度設定レバーがドライゾーンにあるのに、ドライ/スチーム切替トリガーを使用した。	温度設定レバーをスチームゾーンに合わせてください。

故障かなと思ったら (続き)

考えられる原因	対処方法
設定温度になる前にドライ／スチーム切替トリガーを使用した。	ディスプレイパネル左の給電中ランプの点滅が停止し、右の給電完了ランプが点灯したら使用してください。
水タンクに水を入れすぎた。	MAX ライン以上は水を入れないでください。
水タンクを空にせず保管した。	アイロンかけ後は、21ページを参考に、必ず水タンクを空にしてから、給電台に置いた状態で保管してください。
注水口のふたをしっかりと閉めていない。	注水口のふたはしっかりと閉めてください。

状況 粒や粉などがかけ面の穴から出る

考えられる原因	対処方法
セラミックの粉 (12 ページ) か、水道水のミネラル分 (カルキ等) がたまり、排出された。	10数回ジェットスチームボタンを押して蒸気を出すか、セルフクリーニング (24 ページ) でお手入れをしてください。

状況 スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	水タンク内の水に水あか除去剤を入れないでください。
不適切な水を使用した。	セルフクリーニング (24 ページ) をおこない、14 ページを参照して水道水を入れてください。
繊維が、スチーム穴にたまって焦げてしまう。	セルフクリーニング (24 ページ) をおこない、湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的にもスチーム穴をクリーニングしてください。

考えられる原因	対処方法
スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついている。	ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。それでも改善せず、修理をご希望の場合は、修理センターにご連絡ください。

状況 かけ面が汚れる、または茶色くなり、布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
設定温度が高すぎた。	<ul style="list-style-type: none"> ● かけ面の汚れを取り除いてください。 ● 10 ページの「温度設定目安表」を参照してください。
布地に洗剤のりが残っている。	<ul style="list-style-type: none"> ● のりを使用する場合は、あて布をしてください。(13 ページ) ● かけ面の汚れを取り除いてください。

※ かけ面のお手入れについては、23 ページを参照してください。

状況 かけ面にキズがついたまたは破損した

考えられる原因	対処方法
アイロンを給電台に置かず金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーの上に使用した。	<ul style="list-style-type: none"> ● アイロンは常に給電台に置いてください。 ● ジッパー上の使用は避けてください。
研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	<ul style="list-style-type: none"> ● かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。

故障かなと思ったら (続き)

状況 かけ面からゴミが出る

考えられる原因	対処方法
水あかがかけ面についている。	セルフクリーニング (24 ページ) をおこなってください。

状況 ワンタッチスプレーが出ない

考えられる原因	対処方法
水タンクに十分な水が入っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 水タンクに水を入れてください。 ● 最初はスプレーが出にくいことがあります。10～20 回ボタンを押してください。

状況 アイロンが冷たくなってしまう

考えられる原因	対処方法
一定の間隔でアイロンを給電台に置いていない。	アイロンがけをする衣類を取り換える間など、随時アイロンは給電台に置いてください。

状況 コードリールがコードを巻きとらない

考えられる原因	対処方法
コードがねじれている。	ねじれているコードをのばし、軽くコードを引っ張ってください。

仕様

製品名	フリームーブパワー 9986
電源	100 V 50-60 Hz
定格消費電力	1400 W
温度ヒューズ	390°C
アイロン本体サイズ (cm)	約 12.5 × 27.5 × 15.5
アイロン+給電台サイズ (cm)	約 17.0 × 34.0 × 21.0
アイロン+給電台+カバーサイズ (cm)	約 17.5 × 34.0 × 23.0
重量	(本体) 約 1.4kg (本体+ベース) 約 2.4kg (本体+ベース+ケース) 約 2.9kg
コード長さ	約 1.6m
タンク注水量	約 240mL
エアグライドかけ面	●
ワンタッチスプレー (霧吹き)	●
パーチカルスチーム	●
水あか防止バルブ	●
水漏れ防止機能	●
カルキ防止	●
自動停止安全機能	●

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

Made in France

愛情点検

● 長年ご使用のアイロンの点検を!



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- かけ面や取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグローバルセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。